

< 令和 2 年度 5 月 補正 予算案 >

新型コロナウイルス感染症

くらし・経済対策

令和 2 年 4 月 2 8 日
横浜市

過去最大となる

5,743億円の補正予算(案)

(事業規模 7,694億円)

1. 市民と医療を守る

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

2. 375万市民のくらしを守る

市民生活の支援

3. 横浜の活力を守る

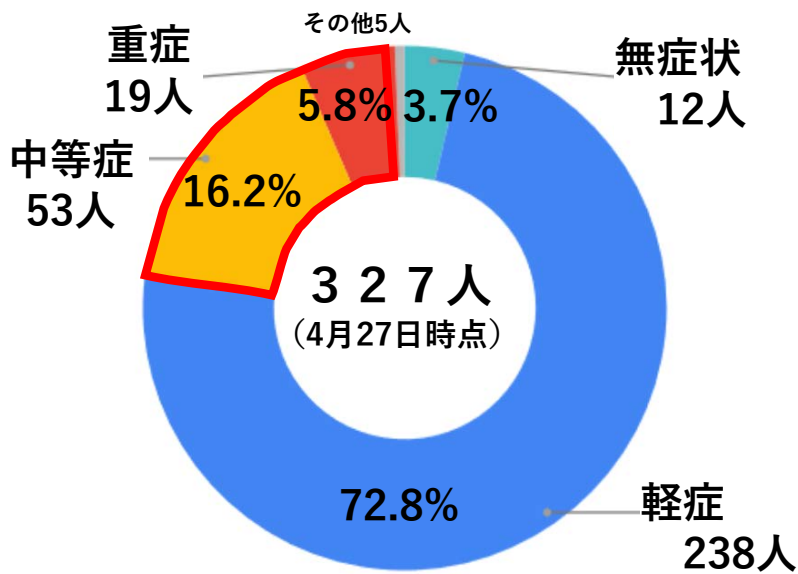
企業・事業活動の支援

市民と医療を守る

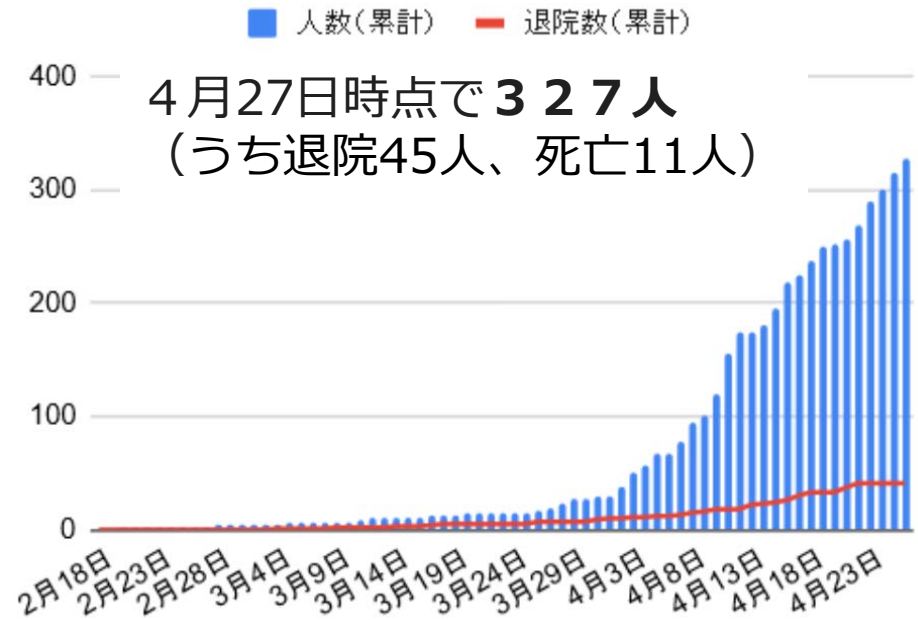
感染拡大防止策と
医療提供体制の整備

145億2,700万円

市内の感染の状況



患者の状況（陽性確定時）



陽性患者の発生状況（累計）

- ◆ 重症・中等症（円グラフ赤枠）が約2割、無症状・軽症が約8割
- ◆ 陽性患者は増加を続けている。

患者の症状に応じた医療を提供します

- ◆ 重症・中等症患者対象500床を確保しています。
- ◆ 軽症者・陽性無症状者対象約200人分を確保しています。
神奈川モデル全体では、軽症者・陽性無症状者対象として、
 - ・ アパホテル&リゾート横浜ベイタワー 約2,300人分
 - ・ 湘南国際村センター 約100人分
- ◆ 軽症者・陽性無症状者の宿泊療養施設として、
移転後の現市民病院を活用します。
 - ・ 200人程度、5月3日開始予定
- ◆ 「横浜市災害医療アドバイザー」の協力のもと、
感染症・医療調整本部（Y-CERT）を運営し、
円滑な患者の入院や移送調整を行います。

新型コロナと戦う医療の現場を支援します

- ◆ 重症・中等症患者受入医療機関に施設整備費を最大500万円助成します。
- ◆ 陽性患者受入医療機関に支援金を支給します。
 - ・ 1人当たり60万円（20日入院の場合。3万円／人日）
- ◆ 医療機関等へ、感染防止に必要な資器材を緊急配布します。
 - ・ マスク、アルコール消毒液、防護服など

PCR検査体制を強化します

- ◆ 市医師会の協力を得て、PCR検査の簡易検体採取を**10か所程度**で実施します。
- ◆ PCR検査費について、保険適用後の自己負担分**(最大5,850円)**を助成します。

375万市民のくらしを守る

市民生活の支援

3,845億5,300万円

みなさまの暮らしを守り抜きます

- ◆ 特別定額給付金は、できる限り早期に申請書の送付、給付金の支給ができるよう準備を進めています。
 - ・ 1人10万円、総額：約3,796億円（事務費含む）
 - ・ 配偶者からの暴力を理由に避難される方の手続きのご案内を始めています。
- ◆ 児童手当受給世帯への臨時特別給付金は、6月の定期支給日に振込みます。
 - ・ 1万円／児童
- ◆ 生活困窮者への住居確保給付金は、新型コロナウイルス感染症により収入が減少した方に支給対象を拡大します。

横浜の活力を守る

企業・事業活動の支援

1,752億5,500万円

(融資枠を事業規模として見た場合:約3,700億円)

市内経済は厳しい状況が続いています

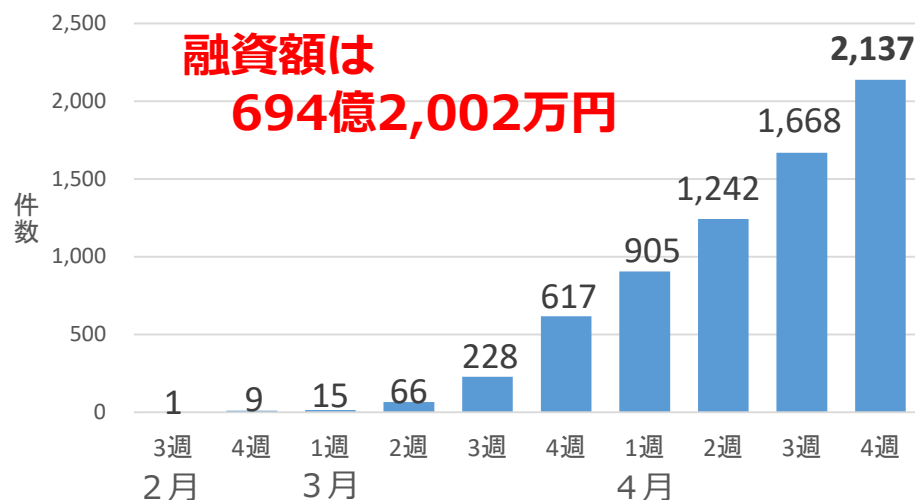
◆ 経済指標

(横浜市景況・経営動向調査)

令和2年 1-3月期	自社業況 B S I
全産業	▲27.2
小売業	▲44.1
飲食店・宿泊業	▲41.2

◆ 本市独自の制度融資の実績 (累計)

(4月24日時点)



市内経済は厳しい状況が続いています

◆市内事業者様からのお声

商店街	<ul style="list-style-type: none">・各商店街のニーズに即し用途が選択できる支援金を交付してほしい・マスク、アルコール等衛生用品の配布を行いたい
飲食業	<ul style="list-style-type: none">・宴会等のキャンセル、外食の減少などで売上が大きく落ち込んでいる
観光業	<ul style="list-style-type: none">・旅行や出張、イベント等の自粛で、宿泊や観光、飲食業に大きな影響
制度融資 利用者	<ul style="list-style-type: none">・最長2年間、元本の返済が不要で安心して融資を受けられた・信用保証料が全額助成され、自己負担がゼロになって助かった

- ◆ 小売業・飲食業、さらには商店街全体も厳しい状況となっています。
- ◆ 中小企業向け融資の実績は大きく伸びています。
- ◆ コンサート、イベント、国際会議の自粛とそれに伴う宿泊キャンセルにより、文化芸術団体やMICE関係事業者等に大きな影響が出ています。

中小企業の持続可能な経営を支えます

- ◆ 無利子（3年間）・無担保・据置期間60か月の新たな融資メニュー「横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金」を創設します。
 - ・ 融資限度額 **3,000万円**
- ◆ 融資枠の大幅な拡大と、低利な融資を実現します。
 - ・ 融資枠 **1,400億円→5,000億円（3.6倍）**
 - ・ 預託金 **1,650億円増額**

新たな制度融資を創設するとともに、現行制度を継続し、市内事業者の皆様の資金繰りを支援します。

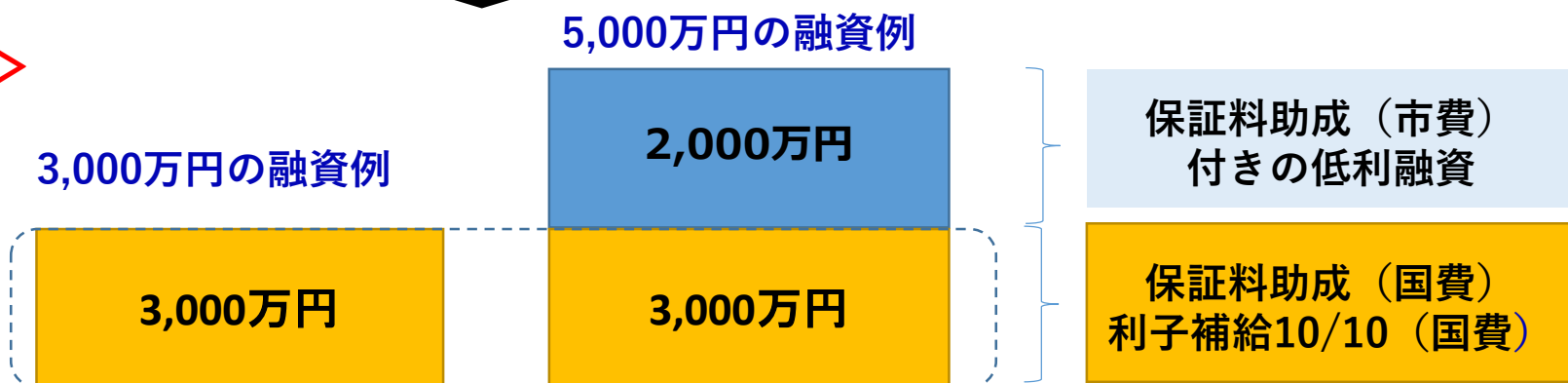
新たな制度融資の創設により、3,000万円以下の融資分について、国費を活用した利子補給・保証料助成を実施します。

また、国費が活用できない3,000万円を超える融資分について、現行の制度を継続し、市費による保証料助成を行うことで、事業者の皆様にご利用しやすい制度融資メニューといたします。

<現行制度>



<補正後>



頑張っている小規模事業者を支援します

- ◆ 「横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金」を500万円以下で利用する経営状況が厳しい小規模事業者や、スタートアップ企業を応援するため、10万円を交付します。

(参考) 「横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金」
無利子（3年間）・無担保・据置期間60か月の
新たな融資メニュー。

頑張っている小規模事業者を支援します

融資額が、**500万円以下**の場合

無担保・無利子(3年間)・据置期間60カ月の融資が活用できます。
融資を活用する小規模事業者には、更に**10万円**で応援。

10万円

融資額が、**3,000万円以下**の場合

無担保・無利子(3年間)・据置期間60カ月の融資が活用できます。

融資額が、**3,000万円以上**の場合

3,000万円までは、
無担保・無利子(3年間)・据置期間60カ月の融資が活用できます。
3,000万円を超える分は、市の保証料助成付きの低利融資を活用。

(市)
事業の継続
と将来に向
けた準備を
支援します



(国・県)
雇用の維持と当面
の緊急支援として
の現金支給

【県】	休業要請や時短営業に応じた場合の 協力金(10~30万円)	10~30 万円
【国】	持続化給付金(法人200万円以内)	200万円 以内

地域経済を支える商店街等を応援します

◆ 地域の生活の基盤であり、地域コミュニティの核である商店街等（約300団体、13,000店舗）を支援します。

- ・ 各商店街等に加盟店舗数×10万円交付
- ・ 5月～申請受付、6月順次交付開始

市民生活に豊かさを与える文化・芸術活動を応援します

- ◆ 現在の情勢において実施できる文化芸術活動（活動再開準備制作、舞台映像配信等）を公募し助成します。

- ・ 最大70万円、合計550事業

- ◆ 「バーチャル版芸術フェスティバル」を開催します。

- ・ 市内を主な拠点とするトップアーティストによるダンス・音楽等を、世界中どこでもバーチャルに体験できる動画コンテンツの制作・配信（10～20公演）

令和2年度 5月補正予算案の概要（くらし・経済対策部分）

【一般会計補正予算】

補正額 5, 743 億円 過去最大の補正額

(財源内訳) 国費 3, 990 億円
市費 96 億円

うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 86 億円

財政調整基金 10 億円

その他 1, 658 億円 (預託金等)

※各項目で四捨五入等を行っているため、合計が一致しません

【特別会計補正予算】

補正額 300 万円 (国民健康保険事業費会計)

新型コロナウイルス感染症対策を応援！！

～ 「寄附」の受け付けを5月1日からスタート ～

- 市の新型コロナウイルス感染症対策を充実するための寄附を受け付けます（寄附メニューを設定）！

寄附金活用例） ・ 医療・福祉・介護・保育施設等への資器材の給付
・ 患者受入医療機関への受入奨励費 など

➡ 横浜市民のみなさんや、地方で活躍する横浜出身者のみなさまが、横浜を応援したいという気持ちに応えます。

- ふるさと納税の返礼品に、市内産品を追加します！

～ 「横浜市へのふるさと納税」の返礼品を拡充 ～

横浜ならではの食料品、飲料、その他

返礼品追加例） ・ 中華街の食料品のおみやげ ・ 市内産花き
・ 老舗洋菓子店の銘菓 ・ 商店街の詰め合わせセット など

➡ これまでの「体験・体感型」の返礼品に加え、緊急事態宣言の発令に伴う休業要請や需要減により、厳しい状況に置かれている市内事業者の支援につなげます。 ※5月中旬：返礼品事業者公募開始、6月上旬以降：順次追加予定